



園名未定

幼保連携型認定こども園
園名未定

第2回三者協議会資料

民営化後の開園日と開園時間

開園日・開園時間			
年間開園日数		241日 ※ 休園日数 124日	
休園日の設定		日曜日・土曜日（1号認定のみ）・祝日・年末年始（12月29日～1月3日）	
		1号認定子どもの長期休業期間 7月20日～8月31日・12月24日～1月8日・3月19日～4月7日	
開園時間 保育時間	平日	最大開園時間	7時00分～19時00分
		保育時間（1号）	9時00分～14時00分
		保育時間（2・3号短時間）	8時30分～16時30分
		保育時間（2・3号標準時間）	7時30分～18時30分
	土曜日	最大開園時間	7時30分～18時30分
		保育時間（1号）	
		保育時間（2・3号短時間）	8時30分～16時30分
		保育時間（2・3号標準時間）	7時30分～18時30分



民営化後の特別保育事業

特別保育事業	
1号認定子どもに対する幼稚園型一時預かり事業（預かり保育）	<ul style="list-style-type: none">・実施時間 平日：（朝）7時30分～9時00分 （夕）14時00～18時30分 長期休業期間：7時30分～18時30分・料金設定 500円/日額・職員配置 預かり保育担当の職員を配置
2・3号認定子どもに対する延長保育事業	<ul style="list-style-type: none">・実施時間 短時間：7時00分～8時30分・16時30分～19時00分 標準時間：7時00分～7時30分・18時30分～19時00分・料金設定 500円/日額・職員配置 延長保育担当の職員を配置
一時預かり事業（在園児以外の預り事業）	<ul style="list-style-type: none">・実施時間 9時30分～15時30分・料金設定 4時間まで（1歳児・2歳児：1,500円、3歳児以上：1,200円） 4時間を超える場合（1時間ごとに400円を加算）・給食費 350円/日額（おやつは含まない）・職員配置 一時預かり事業担当の職員を配置



保育料以外の費用負担

保育料以外の保護者負担について		
名称	金額	内容
教材費	450円/月額	読み聞かせ等に使用する絵本や画用紙、折り紙、製作物の素材等が含まれます。全園児が対象です。
給食費（1号認定）	6,500円/月額	副食費5,000円（おやつを含まない）、主食費1,500円
給食費（2号認定）	7,500円/月額	副食費6,000円（おやつを含む）、主食費1,500円
昼寝用リースふとん	1,650円/月額	昼寝時のふとんの衛生面や保護者の負担軽減を考え、コットベットを使用予定です。
行事費	実費	遠足等の行事にかかる実費。
保育用品	実費	体操服・上靴・カラー帽子・通園リュック・スモックなど
預かり保育	500円/日額	1号認定子どもに対する幼稚園型一時預かり事業
延長保育	500円/日額	2・3号認定子どもに対する延長保育事業

※保育料以外の保護者負担については、三者協議会において、保護者の意見に十分配慮して最終決定します。

保育料以外の費用負担

新入園時

(西大寺北幼稚園実績)

No	項目	単価	備考
1	お道具箱（紙製）	560	藤井書房
2	クレパス（16色）	540	藤井書房
3	のり（ふたつき）	140	藤井書房
4	はさみ（切れやすいもの）	380	藤井書房
5	カスタネット	265	藤井書房
6	ハーフパンツ	2,200	真野株式会社
7	スモック	1,550	真野株式会社
8	運動服長袖	2,230	真野株式会社
9	運動服半袖	1,810	真野株式会社
10	紺ベスト	2,660	真野株式会社
11	座布団	1,380	フレーベル（藤川）
12	座布団カバー	510	フレーベル（藤川）
13	カラー帽子	920	Lサイズ 1090円 ひかりのくに
14	名札	130	藤井書房
15	通園カバン	3,000	真野株式会社
16	氏名印	200	藤井書房
17	出席ノート・シール	680	ひかりのくに
計	合計	19,155	

※各家庭で準備できるものについては購入の必要はなし。

5歳進級時

(R5実績)

No	項目	単価	備考
1	カラー帽子	920	Lサイズ 1090円 ひかりのくに
2	名札	130	藤井書房
3	出席ノート・シール	670	啓林堂書店
計		1,720	

その他の実費徴収等

(R5実績)

No	項目	単価	備考
1	写真（通常）	100	トミカラー
2	写真（集合・文字あり）	600	トミカラー
3	卒園アルバム	10,000	トミカラー（ページ数によって変動あり）
4	共済掛金	200	スポーツ振興
5	遠足バス代	2,500	春・秋2回 ロイヤルツーリスト
6	おやつ代（毎月）	350	
7	材料費（毎月）	450	

※PTA会費（毎月400円）R5年度は徴収無し。

※令和5年度の遠足バス代はPTAより一部助成いただいています。

※写真・卒園アルバムは保護者から業者に直接振り込みいただきます。

※保育料以外の保護者負担については、三者協議会において、保護者の意見に十分配慮して最終決定します。



給食内容

こども園に通うすべての子ども達に対して給食を提供することで、一体感のある保育を進め、食育についての取組みも切れ目なく行えるようにします。食事のマナーや箸の使い方、給食当番活動を通して、正しい道具の使い方を覚えることやルールを守ったり、自らルールを作ったりすることで、友達との共感関係を深めます。

子ども達の誕生日には、主食をおにぎりで提供し、誕生日の特別感を演出し、クラス全員でお祝いをします。その他、子どもの日やひな祭り、お餅つき、ハロウィン、節分などの行事食の実施や、毎月1回異年齢の子ども達をホールに集めてのランチバイキングは、子ども達に食べたいメニューのアンケートを取り、そのメニューの中から人気メニューをビュッフェ方式で行うランチ会は、子ども達が楽しみにしています。

子ども達にとって給食は元気いっぱい活動した後の十分な栄養補給と、給食を通して食の大切さや楽しさを体験し、子ども同士のコミュニケーションを図る大切な時間と考えて、日々工夫と質の高い給食の提供に努めています。

野菜たっぷり素材そのものの「味」を感じる給食

こだわり① 国産生野菜をたっぷり使用、素材の本来の美味しさを引出す味付け

「かつお節」と「昆布」からの天然出汁の使用し、素材の本来の美味しさを引出す味付けを心掛けています。また、野菜については可能な限り国産の生野菜を使用することで、野菜本来の味や風味を大切に食の安全に努めています。

こだわり② 専属農家と契約した安心と安全に配慮した食材選び

主食は、奈良県産「ひのひかり」の使用。令和5年秋の新米からは、専属農家と契約し、れんげ草の力で極力薬を使用しない、減農米の「れんげ米」の提供を順次始めていきます。子ども達の健康と安全に配慮した給食を提供します。

こだわり③ 栄養価が高く、優しい味の手作りおやつを提供し、心と身体の栄養を満たします。



私たちの食育活動

食育についての取組みは、子どもが生活と遊びの中で、意欲を持って食に関わる体験を積み重ね、食べる楽しみや命を大切に作る心を育てます。

専属の栄養士が栄養のバランスや体調と発達に合わせた離乳食を工夫するなど、こども達の発達の段階に配慮して独自の献立を作成し、旬の野菜や色とりどりの様々な食材を使用することにより食べる楽しさを学べる工夫を凝らし食育計画に基づいた「食」への関心を高めます。

給食については、栄養価のバランスのとれた質の高いメニューの提供や新鮮で安全な食材を使用し、調理担当者や給食室の保健衛生の徹底、アレルギー児への除去食対応等、給食を通しての教育・保育活動の充実に努めています。

こだわり① 農作物の栽培と収穫活動

園庭の畑などで、子どもたちが大根、玉葱、とうもろこし、さつまいもをはじめ、様々な野菜を栽培。毎日の水やりや観察で野菜への愛着がわき、収穫物を持ち帰ることで、家庭で食事について話すきっかけ作りにもなっています。

こだわり② クッキング活動

自分たちで育てた農作物を包丁やフライパンなどの調理器具を使用し、自ら調理することで「もっと食べたい」という意欲が湧いてくることで、苦手な食材を克服する子どもの姿も見られます。

こだわり③ 伝統的な食文化にふれる

地域の高齢者や栄養士の協力を得て、餅つき、節分、雛祭りなど日本独自の伝統行事に触れながら、食文化の継承も大切にしています。最近では、ハロウィンやクリスマスなどを通して、世界の食文化にも触れることで、食育活動も子どもたちの大切な思い出になっています。

こだわり④ 陶器食器の使用

質感、重量感、清潔感、華やかさを兼ねそろえた陶器食器を使用し、本物の味わいを大事にして丁寧な取り扱いの習慣や目からの刺激も楽しみにできるようにしています。



私たちの食育活動

わたしたちの食育活動

子どもたちが食べることに興味を持てるよう、郡山双葉会のすべてのこども園で食育を推進。取り組みを通して、季節感や命の尊さを実感し、協調性も育てられています。



農作物の栽培・収穫活動

農圃やまどこも園では、園庭の畑などで子どもたちが大根やとうもろこし、オクラ、枝豆をはじめ、さまざまな野菜を栽培。毎日の水やりや観察で野菜への愛着がわき、収穫物を持ち帰ることで、家庭で食事について話さきっかけづくりも行っています。



クッキング体験

自分たちで育てたほうれん草を包丁で切り、フライパンにバター炒めを作ったはくごども園の5歳児たち。苦手だった子から「もつと食べたい」という声があり、保護者からは「子どもがほうれん草の特徴を覚えてくれる」との感想が寄せられました。



伝統的な食文化にふれる

地域の高齢者の協力を得て年末に実施する、やまこども園の恒例行事。餅つきの由来や農具の名前を覚えてもらったあと、蒸しあがった熱々のもち米のにおいや感触を知り、大人による餅つきを応援。思い出しに飛ぶよう、子どもも持を持ってついています。

「安心・安全なおいしい給食をおなかいっぱい食べてほしくて」

給食に用いる野菜は品質のよいものを厳選し、冷凍野菜は極力使いません。露節や昆布から取った天然だしにもこだわり、自然の旨みを感じられる栄養満点の料理を提供。給食を通して、おいしくて体にやさしいごはんをしっかりと食べることの大切を伝えています。

(郡山双葉会 理事長 生田宏史)

わが子の健康を考えたら、大変でもこの農法しかなかった。ファーム西川がれんげ米の栽培をはじめたのは約12年前。当時、小さなお子さんを抱えていた奥さまの西川佳子さんは「わが子の口から入るものは、体にやさしい食べ物以外考えられなかった」と振り返ります。

秋の稲刈り後に稲わらをすき込んでれんげの種まきをし、4月中旬から5月上旬に満開。花が散ったらさき込み、田植えと進め、夏に有機100%の肥料を散布します。「減農薬栽培にこだわっているため、虫がつかないように、夏場の草刈りにも力を注ぎなければなりません。れんげ畑を作るの間はかかりますが、こども園での採用はとてもうれしい。今から子どもたちの反応が楽しみです」と、ご主人の利幸さん。奈良県から環境にやさしい農業に取り組み農業者としてエコファーマーの認定も受けているファーム西川。「子どもたちの健やかな成長を願い、私たちが自信を持ってお届けします」と、西川夫妻は心強いメッセージを送ってくれました。保護者のみならず、ぜひ期待ください。



ファーム西川

奈良県橿原市観音寺町 265-2
営業時間 11時頃～夕刻
不定休
<https://www.farm-nishikawa.com>

- 1) リピートする人が増え、「ますます手が抜けない」と真摯に作業に取り組む利幸さん。
- 2) ファーム西川の田んぼは、ほかの農家が散布する農薬などの影響を受けにくい場所にあります。
- 3) れんげ米の品種は奈良の風土に合うヒビカリ。化学肥料不使用、減農薬の特別栽培米です。
- 4) 一面の花畑は写真スポットにも。通りすがりの人との温かい会話も生まれているそう。

愛らしいれんげの花畑が栄養たっぷりの土へと導く

今や「懐かしい」「珍しい」との声も聞かれるれんげ畑。空気中の窒素を取り込んで根に貯める性質があるれんげを肥料にすると、土壌が生まれ変わり稲が元気に育ちます。



れんげの田んぼから子どもたちへ



もみを完熟させるための種肥の用具を普及し体験をした生田理事長。有機肥料は化学肥料よりも散布量が多く、暑い時期は田んぼを繰り返し歩くのはなかなかハードです。



来年秋ごろから給食のごはんがれんげ米になります！



西川利幸さんと佳子さんご夫妻。農園内のお店では、奈良のブランドいちご・古郡華とあすカルビーを用いた自家製ジェラートを一年中販売し、人気を集めています。

体にも環境にもやさしいもっちり甘いお米に魅せられて、もっちり栽培に夫婦で取り組む「ファーム西川」。郡山双葉会の生田理事長が「いちごのおいしさに惹かれ、農園内のお店に通うようになったある日、こども園で栽培されたれんげ米」に出会います。れんげ米とはれんげ緑肥を使う昔ながらの農法で栽培されたお米のこと。化学肥料を必要としません。「もっちりしていて甘みがあっておいしい。安心・安全で環境にも配慮したれんげ米を、うちの園に通う子どもたちにも食べてもらいたい」と生田理事長のこの思いに「ファーム西川の西川夫妻はこの秋から郡山双葉会用の田んぼの土づくりがスタートし、来年2023年秋に収穫する新米からこども園の給食に登場する予定です。」



西大寺北幼稚園施設整備計画

施設整備の概要

【整備時期】

令和6年10月～令和8年3月（予定）

※3号認定こどもの受入は、令和8年2月頃からを予定しています。

【整備内容】

既存園舎の改修及び一部増築工事。改修工事中は、一部保育室仮設園舎を設置し、保育区画と工事区画を分けることにより、工事中の園児や保護者の安全確保や騒音の軽減に配慮します。また、安全な戸外遊びのスペースの確保や遊戯室の継続使用や畑や遊具の移設など、現状の幼稚園運営への影響を最小限に抑え、子ども達の日頃の活動に影響が無いように工夫と配慮をします。施設整備の財源については、就学前教育・保育施設整備交付金を活用し、整備後定員を74名とします。

【整備場所】

西大寺北幼稚園敷地内

施設整備にあたっての考え方

本事業の施設整備計画は、敷地面積が狭く、前面道路も狭く一步通行であることから、既存園舎を改修することで、大型工事車両の使用を控え、改修中は一部仮設園舎を設置し、保育区画と工事区画を分けることにより、工事中の園児や保護者の安全確保や騒音の軽減、安全な戸外遊びのスペースの確保など、現状の幼稚園運営への影響を最小限に抑えます。

計画では、園児がこれまで生活してきた大切な園舎の思い出を大切にすることをコンセプトに置き、園舎は内外装の全面改修に止め、現状の園舎の安全性や利便性の向上を図ります。また、園児と共に育った樹木などの自然環境は出来る限り保存し、これまでの様に四季を感じ、自然豊かな環境の中で園児が生き生きと活動できる場を保障します。

工事中や工事後の近隣への取り組みとして、既存園舎の管理棟を解体撤去し、パススルー式の園児送迎用駐車場スペースと駐輪場を確保し、当該園の前面道路のスムーズな通行と安全確保に努めます。



施設整備期間中の給食搬入

令和6年4月～令和7年10月末までの期間の給食については、当法人が運営する「鶴舞やまところも園」か「やまところも園mimi」で調理した給食を運搬し、西大寺北幼稚園の炊事場及び簡易厨房で盛付けや再加熱を行い提供します。

令和7年11月からは、完成した西大寺北幼稚園給食室で自園調理を開始する予定です。



離乳食（保温ケース）



おかず・汁物（保温ケース）



卵焼き・副菜（保温ケース）



保温冷ケースA



保温冷携帯B



給食運搬車（例）



西大寺北幼稚園整備後イメージ



よくある質問についてQ&A

Q1. コットベットの、園で用意してくれるのですか。リースふとん費用にシーツは含まれていますか。

A. リース費用に含まれている物は、コットベット、タオルケット（夏）、毛布（冬）が含まれています。

シーツは、保護者でご用意いただきます。

Q2. 午睡は、何歳からいつまで行いますか。

A. 0歳から年長児の11月まで行います。

Q3. 1号認定の預かり保育利用時のリースふとん費用を教えてください。

A. 利用回数による日額金額を設定します。150円/日額 ※上限は、月1,650円

Q4. オムツは持ち込みかリースですか。

A. オムツは持ち込みです。使用した枚数を補充していただきます。使用したオムツは、園で処分します。

Q5. 上靴は指定のものですか。

A. 上靴は自由ですが、園で推奨する形状のものを用意いただきます。（例）紐靴は禁止等

Q6. 園で保管の着替えは指定ですか。

A. 私服で構いませんが、脱着しやすく、飾り等が付いていない華美でない物をお願いします。

Q7. 諸経費は銀行引落しですか。

A. 基本的には、全て引落しで集めますが、期日までに引落しが不能の場合は、園に持参をお願いします。毎月の引落とし金額については、ICTシステム「コドモン」を使用し、登録いただいた保護者の連絡先にお知らせします。



よくある質問についてQ&A

Q8. 給食費の日割り対応は可能ですか。

A. 園児やその家族が病気やケガにより長期入院した場合や里帰り出産により欠席される場合等は、日割り（350円/日額）対応をさせていただきますので相談下さい。

Q9. 在園児の長期休暇中の給食費の金額についての設定はありますか。

A. 春季、夏季、冬季の休暇中の給食費は、日割り（350円/日額）で計算します。その場合の上限金額については、当該園児の認定区分の月額給食費を超えない事とします。

Q10. 送迎用の駐車場の利用ルールはありますか。

A. 駐車場は送迎時専用です。1号認定については基本的に徒歩又は自転車で通園をお願いします。ただし、遠方から通園されている方や疾病等により徒歩若しくは自転車での登園が困難な方は一定のルールを定めて、許可を取得いただくことで運用したいと考えています。（ルールは改めてお知らせします）

Q11. 園児の服装についての決まりはありますか。

A. 保育中の安全面による配慮で、お願いや禁止をしている物があります。詳細については、入園のしおりや入園面談でお知らせをします。

Q12. 登降園時間の管理について

A. 登降園時間の管理は、ICTシステムの「コドモン」を使用します。登降園時に指定場所にある読取り機に個人別のQRコードを使用し登降園時刻を記録します。その記録を基に各種特別保育事業（幼稚園型一時預かり保育事業、延長保育事業）の料金を決定します。



ア・タ・ラ・シ・イ
カ・タ・チ



アタラシイカタチとは
いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも
新しく変化を重ねているものも取り入れること